

地域経済動向レポート

調査時期	2024年10月			対象期間	2024年7月～9月	
対象事業所	<b>小規模事業者対象</b> ①振興モニター 178件 (うち回答101件)      ②市内金融機関取引先19件 (うち回答16件)					
全産業合計	<b>117件</b> ※全調査対象197件 中回答117件      = 回収率59.4%					
回答業種内訳	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	その他
(小規模回答件数)	20	35	5	17	34	6
付帯調査	【付帯調査】今回はなし					

【全体の動向】

市内小規模の売上DIは（前回△3.6→今回6.8）と好転、先行きはさらに好転の見通し。

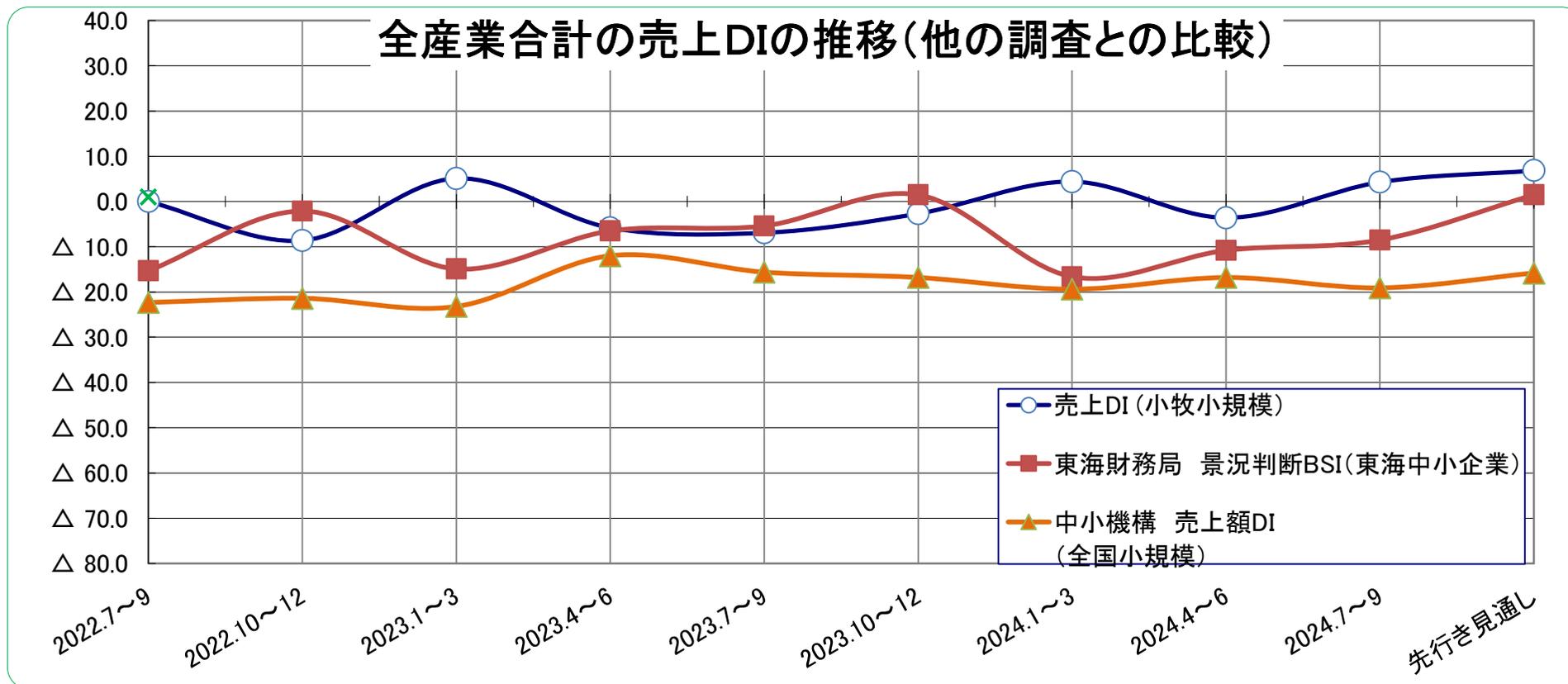
中小機構実施の全国小規模の業況判断DIは（前回△16.8→今回△19.1）とマイナス幅が拡大したが、先行きはマイナス幅縮小の見通し。

東海財務局が実施する東海地区（愛知、岐阜、三重、静岡）中小企業の業況判断ではマイナス幅が縮小（前回△10.8→今回△8.5）し、先行きは好転の見通しで、全国に比較すると市内小規模も含め東海地方の中小企業、全国とも先行きは改善傾向にある。

※DI = （増加・好転などの回答割合） - （減少・悪化などの回答割合）

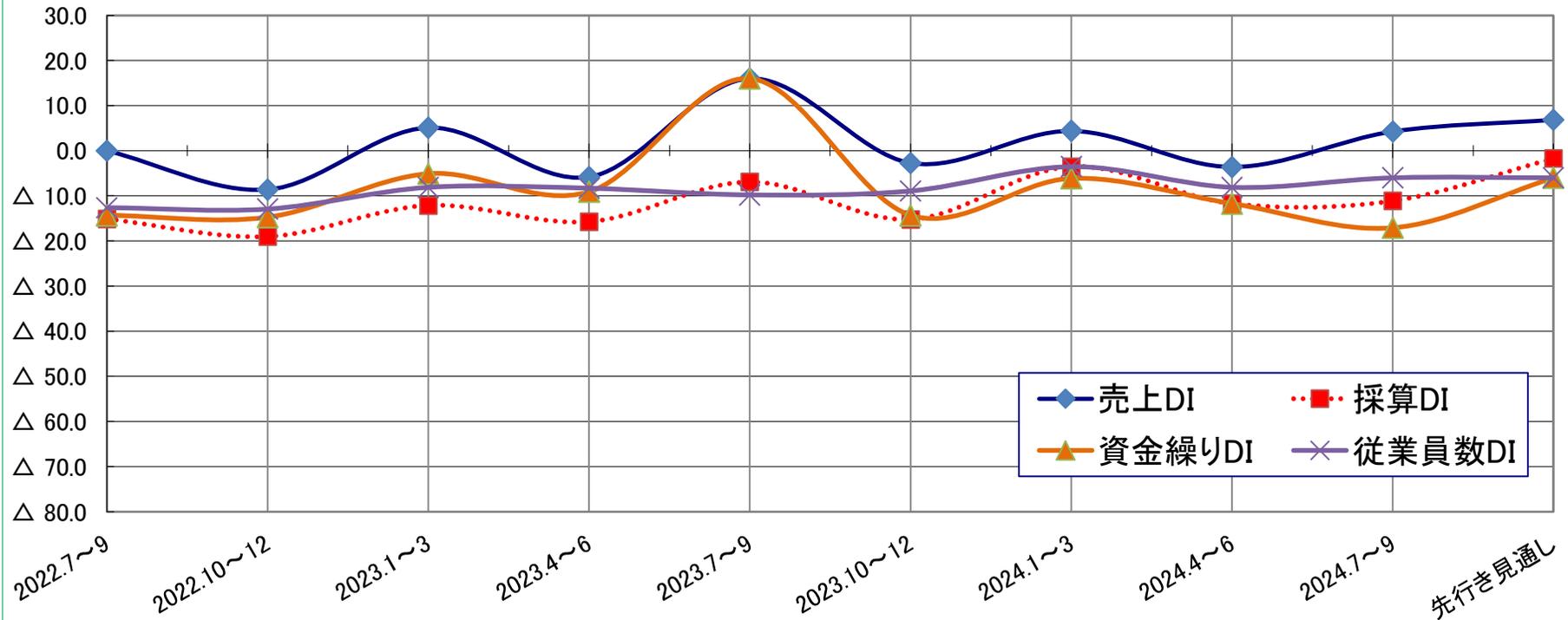
## 【全産業合計の売上D I～従業員D Iの動向／指標別】

- ① **売上D I**は2024年4～6月の調査より好転（前回△3.6→今回4.3）し、先行きはさらに改善の見通し。
- ② **採算D I**はマイナス幅はほぼ横ばい（前回△11.7→今回△11.1）だが、先行きはマイナス幅が大幅に縮小の見通し。
- ③ **資金操りD I**もマイナス幅が拡大（前回△11.7→今回△17.1）したが、再びマイナス幅が縮小の見通し。
- ④ **従業員D I**は、不足の傾向はマイナス幅が縮小（前回△8.1→今回△6.0）し、先行きは横ばいの見通し。



調査実施月	2022.10	2023.1	2023.4	2023.7	2023.10	2024.1	2024.4	2024.7	2024.10	
調査期間	2022.7~9	2022.10~12	2023.1~3	2023.4~6	2023.7~9	2023.10~12	2024.1~3	2024.4~6	2024.7~9	先行き見通し
売上DI (小牧小規模)	0.0	△ 8.6	5.1	△ 5.8	△ 6.9	△ 2.7	4.4	△ 3.6	4.3	6.8
中小機構 売上額DI (全国小規模)	△ 22.3	△ 21.4	△ 23.2	△ 12.0	△ 15.6	△ 16.8	△ 19.4	△ 16.8	△ 19.1	△ 15.8
東海財務局 景況判断BSI (東海中小企業)	△ 15.3	△ 2.1	△ 14.9	△ 6.5	△ 5.4	1.5	△ 16.6	△ 10.8	△ 8.5	1.5

### 全産業合計の売上DI～従業員DIの推移(小規模)



●全DIの推移

調査実施月	2022.10	2023.1	2023.4	2023.7	2023.10	2024.1	2024.4	2024.7	2024.10	
調査期間	2022.7～9	2022.10～12	2023.1～3	2023.4～6	2023.7～9	2023.10～12	2024.1～3	2024.4～6	2024.7～9	先行き見通し
売上DI	0.0	△ 8.6	5.1	△ 5.8	16.0	△ 2.7	4.4	△ 3.6	4.3	6.8
採算DI	△ 15.1	△ 19.0	△ 12.1	△ 15.7	△ 6.9	△ 15.2	△ 3.5	△ 11.7	△ 11.1	△ 1.7
資金繰りDI	△ 14.3	△ 14.7	△ 5.1	△ 9.1	16.0	△ 14.3	△ 6.1	△ 11.7	△ 17.1	△ 6.0
従業員数DI	△ 12.6	△ 12.9	△ 8.1	△ 8.3	△ 9.8	△ 8.9	△ 3.5	△ 8.1	△ 6.0	△ 6.0

地域経済動向レポート

●売上DIの推移

調査実施月	2022.10	2023.1	2023.4	2023.7	2023.10	2024.1	2024.4	2024.7	2024.10	
調査期間	2022.7~9	2022.10~12	2023.1~3	2023.4~6	2023.7~9	2023.10~12	2024.1~3	2024.4~6	2024.7~9	先行き見通し
全産業	0.0	△ 8.6	5.1	△ 5.8	16.0	△ 2.7	4.4	△ 3.6	4.3	6.8
建設業	197.0	△ 15.0	117.0	15.0	0.0	20.0	0.0	0.0	15.0	10.0
製造業	0.0	20.0	3.3	8.6	△ 6.7	△ 8.8	16.7	△ 3.2	8.6	5.7
卸売業	△ 16.7	△ 36.4	28.6	△ 50.0	△ 33.3	△ 33.3	0.0	△ 100.0	△ 40.0	0.0
小売業	△ 8.0	△ 29.4	△ 31.3	△ 20.0	△ 23.5	△ 33.3	0.0	△ 25.0	△ 23.5	17.7
サービス業	9.5	△ 12.0	20.0	△ 8.8	14.3	20.6	3.2	14.3	17.7	8.8
その他	25.0	△ 25.0	37.5	△ 50.0	△ 57.1	△ 37.5	△ 14.3	△ 16.7	△ 16.7	△ 33.3

【POINT】売上DIは、極端に悪化していた卸売で大幅にマイナス幅が縮小し、先行きは小売業とともに好転の見通し。

●採算DIの推移

調査実施月	2022.10	2023.1	2023.4	2023.7	2023.10	2024.1	2024.4	2024.7	2024.10	
調査期間	2022.7~9	2022.10~12	2023.1~3	2023.4~6	2023.7~9	2023.10~12	2024.1~3	2024.4~6	2024.7~9	先行き見通し
全産業	△ 15.1	△ 19.0	△ 12.1	△ 15.7	△ 6.9	△ 15.2	△ 3.5	△ 11.7	△ 11.1	△ 1.7
建設業	△ 21.7	△ 15.0	△ 11.1	10.0	△ 11.8	△ 6.7	△ 8.7	△ 20.0	△ 15.0	0.0
製造業	△ 11.1	2.9	△ 20.0	△ 14.3	△ 3.3	△ 20.6	16.7	△ 3.2	2.9	2.9
卸売業	△ 50.0	△ 27.3	14.3	△ 50.0	△ 33.3	△ 33.3	△ 20.0	△ 66.7	△ 40.0	△ 20.0
小売業	△ 28.0	△ 29.4	△ 12.5	△ 25.0	△ 23.5	△ 13.3	△ 16.7	△ 18.8	△ 23.5	0.0
サービス業	△ 4.8	△ 40.0	△ 15.0	△ 17.6	14.3	△ 5.9	△ 3.2	△ 2.9	△ 8.8	0.0
その他	25.0	△ 25.0	0.0	△ 33.3	△ 42.9	△ 37.5	△ 28.6	△ 33.3	△ 33.3	△ 33.3

【POINT】採算DIは、極端に悪化していた卸売で大幅にマイナス幅が縮小し、全体的に改善の見通し。

●資金繰りDIの推移（小規模）

調査実施月	2022.10	2023.1	2023.4	2023.7	2023.10	2024.1	2024.4	2024.7	2024.10	
調査期間	2022.7～9	2022.10～12	2023.1～3	2023.4～6	2023.7～9	2023.10～12	2024.1～3	2024.4～6	2024.7～9	先行き見通し
全産業	△ 14.3	△ 14.7	△ 5.1	△ 9.1	16.0	△ 14.3	△ 6.1	△ 11.7	△ 17.1	△ 6.0
建設業	197.0	△ 15.0	117.0	0.0	△ 5.9	△ 6.7	0.0	△ 15.0	△ 20.0	△ 5.0
製造業	△ 11.1	△ 5.7	△ 13.3	△ 11.4	△ 3.3	△ 20.6	△ 3.3	△ 16.1	△ 14.3	0.0
卸売業	△ 50.0	△ 18.2	0.0	△ 33.3	△ 33.3	△ 16.7	0.0	△ 33.3	△ 20.0	△ 20.0
小売業	△ 20.0	△ 23.5	△ 6.3	△ 10.0	△ 23.5	△ 20.0	△ 11.1	0.0	△ 29.4	△ 11.8
サービス業	△ 19.0	△ 16.0	0.0	△ 2.9	10.7	△ 8.8	△ 3.2	△ 5.7	△ 8.8	△ 5.9
その他	△ 12.5	△ 25.0	0.0	△ 33.3	△ 14.3	△ 12.5	△ 42.9	△ 33.3	△ 33.3	△ 16.7

【POINT】 資金繰りDIは小売で大幅に悪化。先行きは全体的に改善の傾向。

●従業員DIの推移（小規模）

調査実施月	2022.10	2023.1	2023.4	2023.7	2023.10	2024.1	2024.4	2024.7	2024.10	
調査期間	2022.7～9	2022.10～12	2023.1～3	2023.4～6	2023.7～9	2023.10～12	2024.1～3	2024.4～6	2024.7～9	先行き見通し
全産業	△ 12.6	△ 12.9	△ 8.1	△ 8.3	△ 9.8	△ 8.9	△ 3.5	△ 8.1	△ 6.0	△ 6.0
建設業	△ 26.1	△ 15.0	△ 11.1	△ 15.0	△ 23.5	△ 20.0	△ 4.3	△ 15.0	△ 15.0	△ 10.0
製造業	△ 11.1	△ 20.0	△ 6.7	△ 8.6	△ 10.0	△ 8.8	0.0	△ 9.7	0.0	△ 2.9
卸売業	△ 16.7	0.0	△ 28.6	0.0	0.0	△ 16.7	0.0	0.0	△ 20.0	△ 20.0
小売業	△ 8.0	△ 5.9	0.0	△ 10.0	0.0	0.0	△ 11.1	△ 12.5	△ 5.9	△ 11.8
サービス業	△ 9.5	△ 16.0	△ 5.0	△ 5.9	△ 10.7	△ 5.9	△ 3.2	△ 2.9	△ 2.9	0.0
その他	0.0	0.0	△ 12.5	0.0	0.0	△ 12.5	0.0	0.0	△ 16.7	△ 16.7

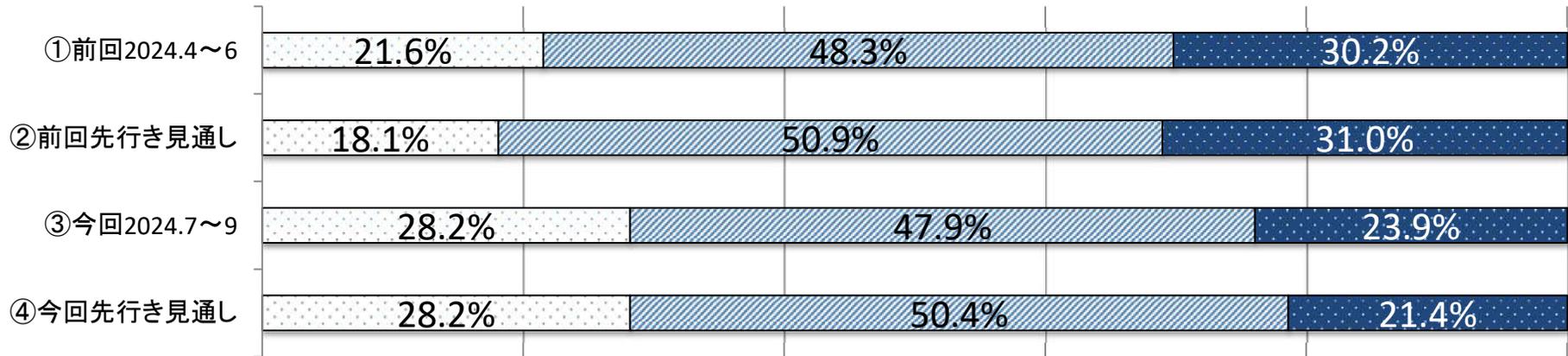
【POINT】 従業員DIは、卸売・その他業種で人員不足が顕著。先行きは建設・サービスでマイナス幅が縮小する見通し。

業況感と業界として当面している問題等に関する声

業種		内容
建設	現状	売上増加、徐々に取り組んでいるプライシング効果。 / 管工事
	先行き	消費動向からは先行き積極的なリフォーム等は伸び悩み。 / 水回り設備工事
製造	現状	自動車関連の仕事が動き始めた。 / 自動車部品製造
	先行き	電力など経費を抑えているので利益確保につながっている。 / プレス加工
卸売	現状	今年2月に従業員が1名退職。8月9月の受注残売上が貢献。 / 産業機械器具卸売
	先行き	商品在庫不足の解消。 / 輸入家具卸売
小売	現状	猛暑により来店客が減少した。 / 家具小売
	先行き	ボーナス時期に差し掛かる為、折込チラシなどを活用し、売上拡大を図る。 / 家庭電化品の販売・修理
サービス	現状	売上は上がっているが、原価率が上がってしまい、利益は良くなっていない。 / 洋食店
	先行き	年末需要の期待。店舗運営体制の見直しで利益改善を進める。 / 飲食店経営
その他	現状	燃料費の高止まり。 / 一般貨物自動車運送事業
	先行き	案件はあるものの市場の動向が好転しているとは感じられない。 / 不動産仲介業

### 小規模の売上(回答割合)

■ 増加 ■ 不変 ■ 減少



### 小規模の採算(回答割合)

■ 好転 ■ 不変 ■ 悪化

